

自己評価及び外部評価票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090500105		
法人名	特定非営利活動法人あおぞら		
事業所名	グループホーム大門		
所在地	長野県飯田市大門町22番地		
自己評価作成日	令和5年9月26日	評価結果市町村受理日	

4月より運営を引き継ぎ、新体制になった為、職員及び利用者様に迷惑がかからないように、事業の継続及びサービスの質の担保に力を入れています。特に、基本方針である「尊厳の保持」と「自立支援」の具現化を、利用者本位の立場から日々のサービス一つひとつを見直しています。認知症ケアの基本に立ち返って、自分たちの関わり方を評価し、その方が求めていることをチームで検討しています。また、職員の休憩時間の確保や記録物の重複、引継ぎ方法を簡略化し、業務改善を図ることで、利用者様に関わる時間の確保と個別ケアに対応する時間を創出する努力をしています。また、利用者様の思いを引き出すために、ご家族との会話を増やして、生活歴を理解し、その方のストレングスを一緒に見つけ出す取り組みを始めています。今後は、ケアプランの中に個別ケアを重視した取り組みを反映させたいと考えています。

※事業所の基本情報は、長野県介護サービス情報公表システムで閲覧してください(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_pref_search_list_list=tr

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人しなの福祉教育総研		
所在地	長野県上田市上田180-6		
訪問調査日	令和5年11月21日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

開所から13年、今年4月に理事長と管理者の交代により新たな【大門】がスタートしました。大門の理念と基本方針を軸に、それまで積み上げてきた内容を考え整理して【継続し発展させていくべき取り組み】【新たに求められる福祉ニーズの方向性を捉えて取り組むべきこと】を、管理者と職員が面談や会議の場で話し合いを重ね、1つ1つ実践し評価、改善に取り組んでいます。管理者の福祉に関する高い専門性による新たな取り組みと、職員と共有した「尊厳・自立支援・個別ケア」を実践しています。自分達の取り組み(評価項目の「実践状況」に紹介しました)の結果が、利用者の変化や今までにない嬉しそうな表情や家族の嬉しい思いにつながり、この実体験は職員のやりがいになっていることを職員面談でお聞きました。また、家族アンケートからは「入居者ファースト」「アットホームで母が落ち着いて安心」との声が多く寄せられています。管理者と職員が志を軸に、相互の意思確認を行いながら、今後も目指す「自分らしく暮らし続ける」の実践を期待いたします。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名()		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている。 (11, 12)	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない				

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名()			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	66	職員は、活き活きと働いている。 (11, 12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		